

2020年10月5日
九州電力株式会社

大岳地熱発電所の営業運転を開始しました
—国内初の事業用地熱発電所の更新工事が完了—

当社の大岳地熱発電所は、9月1日から試運転による発電を行ってきましたが（2020年9月1日お知らせ済み）、発電設備の検査・調整等が完了したことから、本日、営業運転を開始しました。

今回の更新工事では、既設発電所設備を運転しながら、隣接地に新たな設備を建設したことで、発電停止期間の短縮に努めました。

また、地下設備（蒸気井、還元井）は既設の設備を継続して使用するため、地下から取り出す蒸気や熱水の量は変わりませんが、熱水を減圧して更に蒸気を取り出す「ダブルフラッシュ方式」の採用により出力の増加と地熱資源の有効活用を図っています。

なお、運転開始時の出力は、現時点で確保できている系統連系容量から13,700kWとなります。今後、連系容量が確保でき次第、14,500kWに出力を増加してまいります。

当社は、今後も地球温暖化への対応及び国産エネルギー有効活用の観点から、再生可能エネルギーの積極的な開発、導入に努めてまいります。

〔大岳地熱発電所の概要〕

	更新前（既設）	更新後
発電所名称	大岳地熱発電所	
所在地	大分県玖珠郡九重町大字湯坪	
発電方式	汽力（地熱）	
出力	12,500kW	14,500kW（13,700kW※）
運転開始	1967（昭和42）年8月	2020（令和2）年10月

※運転開始時の出力

〔主な経緯〕

- ・2013年 9月 環境調査開始
- ・2018年 4月 工事着手
- ・2020年 6月 既設発電所運転停止
- ・2020年 9月 発電開始
- ・2020年 10月 営業運転開始

以上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九州電力グループの思いです。